

HITACHI



この資料及びこの資料に基づく計算書並びに記録等の出力を複写、第三者へ開示または公開しないようお願い致します

資料2

第16回 特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係るヒアリング  
(2021年6月24日)

Doc No. FRE-TA-0163/REV.1

## 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 (設置方法②の設計方針、事業者への引継ぎ事項)

2021年6月24日

日立GEニュークリア・エナジー株式会社

内は商業機密のため非公開



## 目次

---

1. 設置方法②の設計方針、事業者への引継ぎ事項
2. 設置方法②に関する安全評価方針



# 1. 設置方法②の設計方針、事業者への引継ぎ事項

この資料及びこの資料に基づく計算書並びに記録等の出力を複写、第三者へ開示または公開しないようお願い致します

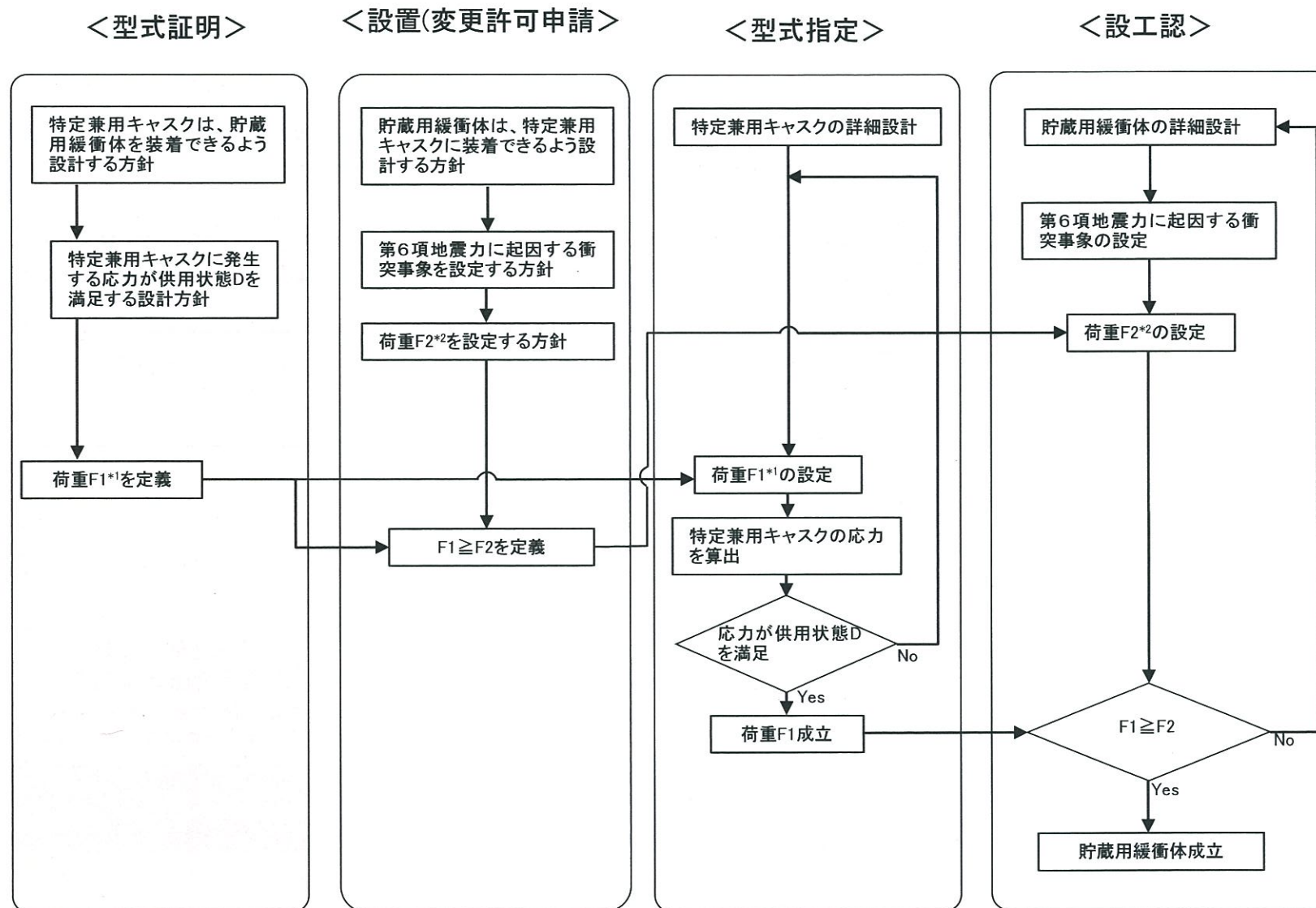


型式証明での説明事項		型式指定での説明事項
設計方針	HDP-69BCH(B)型は、貯蔵用緩衝体を装着できること。特定兼用キャスクに荷重が作用しても、安全機能を担保する部材が供用状態D*1の評価基準を満足できる荷重を設定する方針であること。	型式証明の設計方針にしたがって荷重を設定すること。
成立性	—	設計方針にしたがって設定した荷重において、特定兼用キャスクの貯蔵時の安全機能を担保する部材に発生する応力が供用状態Dの評価基準を満足すること。
事業者審査への引継ぎ事項	(設置(変更)許可申請) 貯蔵用緩衝体の設計条件となる荷重は、特定兼用キャスクの安全機能が損なわれない荷重以下であること。	(設工認申請) 第6項地震力に起因する衝突事象を設定して、貯蔵用緩衝体を詳細設計し、特定兼用キャスクに作用する荷重が型式指定で設定した貯蔵用緩衝体の設計条件となる荷重以下であること。

\*1: 日本機械学会 使用済燃料貯蔵施設規格 金属キャスク構造規格に規定される供用状態

## 2. 設置方法②に関する安全評価方針

この資料及びこの資料に基づく計算書並びに記録等の出力を複写、第三者へ開示または公開しないようお願い致します



\*1: 供用状態Dを満足する荷重

\*2: 第6項地震力に起因する衝突事象を考慮して設計した貯蔵用緩衝体を装着した場合に特定兼用キャスクに作用する荷重